



令和6年3月きずな便り

社会福祉法人温和会 絆保育園 園長 阿嘉禎貴



子ども達の望ましい成長発達を祈願しながら、園とご家庭とが心ひとつにして“素晴らしい保育・教育を”と精一杯の愛情を注いできました。お陰様でいよいよ今年度も最後の月を迎えることになりました。暖かい春が訪れ、子ども達の心のつぼみがふくらんで、皆さんもご存じのように発表会では、この1年で大きくたくましく成長した子ども達自身の成長への笑顔は、きらきら光り輝いていました。

今年度も、皆様のお子様方のすばらしい育ちが、私達職員にたくさんの感動を与えてくれた事におきまして、ここに心より感謝申し上げます。令和5年度の保育も残りわずかではございますが、一つでも子ども達や保護者の皆様が1ページでも思い出が綴られる様楽しい時間をつくっていきたいと思っています。

保育目標：身の回りのことに自ら取り組み進級や就学に期待しながら安定して過ごす。・春の訪れに気づき、自然に親しむ。

3月の行事予定

- 14日(木):誕生会(弁当持参)
- 20日(水):秋分の日(休園)
- 23日(土)卒園式
- 29日(金)次年度準備協力願い
- 30日(土)次年度準備の為休園となります



卒園式

無事に今年度も18名のらいおん組のこども達が巣立っていきました。良磨先生をはじめ沢山の先生方が一生懸命成長を見守ってきたこども達。保護者の皆さまの応援があったからこそできた事だと思っております。本当にありがとうございました。



子育てへのメッセージ

社会福祉法人温和会認定こども園ライカム煌保育園
園長 阿嘉よね子

どうして、運動会・発表会と大きなステージで泣く子が少ないの？

先日、生活発表会のプログラムに入る前に、「社会福祉法人温和会の三大行事、夕涼み会、運動会、生活発表会での保護者の皆さまからの声で、“どうして、ここの園児達は、0歳児～5歳児まで泣く子がいないの？”の声が多々あります。皆様も今回のステージをご覧になりながら、本当に泣く子がいないのかな？何故？“とその理由を考えて頂きたいですね」と話しました。

ステージ終了後、園児たちは、泣かずに、のびのびと演技を披露していました。姉妹園、ひだまり認定こども園は、ニライセンターカーナイホールという大きなホールで本番を迎えましたが、保護者からも「先生素晴らしかった！こんな大きな会場で、親を見つけても泣かないですね！」と。そして、今帰仁村にある姉妹園、認定こども園まほろば保育園は園内のホールで開催しまして、立ち見のお客さんの前で、0歳児～5歳時までがしっかりと演技を披露していました。来賓で来られた先生方も、「ここの子ども達すごいね！みんなにこにこして楽しそうに踊っているし、親にステージから手を振りながら堂々としているね！」と。絆保育園は、園長から「全員が堂々と演技を披露していましたよ。保護者の皆さんも喜んでいました」と、嬉しそうに声を届けてくれました。

我が社会福祉法人温和会は、4園ともプログラムの内容は一緒です。しっかりした演技をすると、かなり厳しく練習しているのでは？と思う方もいるかと思いますが、考えて頂きたい。0歳児～5歳児まで、やらされてイヤイヤやっていたら、それがいずれ「保育園行きたくない」に繋がってしまうかもしれません。我が園の好奇心旺盛な園児たちは、楽しそうに取り組み、時には「もっと練習したい」と申し出る程です。日ごろから職員が、園児一人一人と向き合い、愛情を注いでいると、8時間～11時間、保育園にいる時間の中で、園児達は、先生の“愛情をキャッチする力”“を持てるようになっていきます。また、三大行事の演技は、どれも理事長が中心になって、年齢にあった振り付けをしていますので、無理なく取り組む事ができます。温和会の歴史は、そうやって作られてきました。また、本番を迎えるまで会場に慣れさせる為、数日、会場を借りて練習してしますので、心安定して本番を迎える事ができています。それでも当日泣いちゃう事があるかもしれない。それでも良いんです。成長に繋がっていきます。

職員も皆様のお子様と接する事で、教育のレベルも上げていく事が出来ていると思います。心より感謝申し上げます。

来年も保育・教育に邁進していきますのでよろしくお願い致します。